

長野県内の山は、降雪で雪が積もっており、雪のない山を目指して山梨県の乾徳山へ登った。

乾徳山登山口(徳和駐車場)から入山、道満(どうまん)尾根を進む。

道満尾根は尾根筋を一直線に登っていくルートで、かなり疲れた。

中腹からは常に後ろに富士山があり、富士山に背中を押されながら進む。(写真1)

ずっと林の中で、乾徳山の山頂が見えない状態が続くが、扇平でパッと岩を抱いた険しい山頂が見えた。(写真2)

山頂付近は、噂通りの岩山で、鎖場多数あり。知らずに行ったらびっくりするレベル。(写真3)

特に最後の鳳岩は鎖があるから登れるが、なければ厳しい。

山頂では、素晴らしい富士山の眺めを堪能。年賀状用の写真が撮れた。(写真4,5)

山頂は人が多かったので、隣のピークで休憩。

下りは、西側斜面になりやや雪が残る。チェーンスパイクを装着すると、軽快に下山できた。ガレ場注意とあったが、雪で隠れていたためか、問題なし。

途中からは、斜度もゆるくなり、歩きやすい道を登山口まで戻る。

乾徳山は冬の積雪対策なのか、ピンクテープが多数付けられており、道を見誤ることはなさそう。

変化にとんだコースで、とても楽しめる山行であった。

【コースタイム】

乾徳山登山口	7:10
徳和峠	7:25
道満山	8:40
扇平	10:10
乾徳山	11:10-11:40
国司ヶ原十字路	13:00
登山口	14:00
乾徳山登山口	14:30

写真1

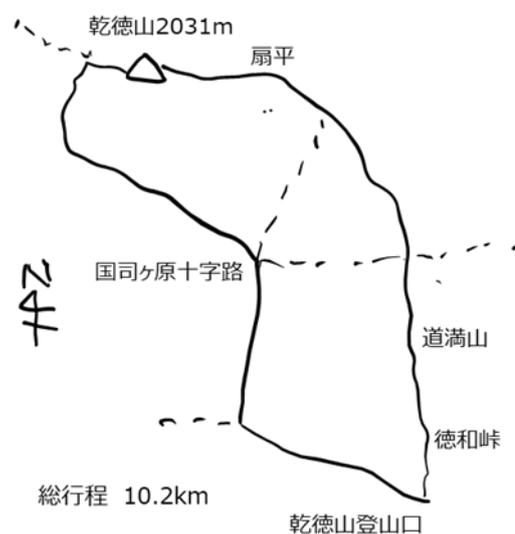


写真2



写真3



写真4



写真5



